



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 450部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報委員会



萩市・阿武町 住民健診のお知らせ

健診・がん検診を受けましょう!!

※山口県民の4人に1人はがんで亡くなっています

何を受けたらいいかわからない場合は
お気軽にご相談ください!!



	萩市	阿武町
検診が 受けられる人	萩市国保・後期高齢者 社会保険扶養者 <small>※社会保険本人でがん検診を受ける機会がない方は萩市健康増進課にご相談ください。</small>	阿武町国保・後期高齢者 社会保険扶養者または本人
実施期間	1月31日(金)まで	2月28日(金)まで
予約受付窓口 【健診室】	時間:午前10時30分~午後3時 電話:0838-22-3090	

※詳しくは、各市町の「健診のしおり」をご覧ください

女性は2年に1回 乳がん・子宮がん検診を!!

当院では、マンモグラフィと併せて超音波検査を行なっています。
マンモグラフィだけでは見つけにくいがんも発見しやすくなります。

※検査の際、女性技師を希望される方はご相談ください

※自覚症状がある人、該当のがんで治療や経過観察中の人は専門医やかかりつけ医に相談しましょう。

がん検診で必ずがんを見つけれられるわけではありません。
がんがなくても、検診の結果が「がんの疑い」となる場合があります。



※国保ドック・後期高齢者ドックの申し込み予約は終了しました。ありがとうございました。



まちの保健室開催



看護の日

今年はコロナ禍を経て5年ぶりの開催でした。
身長測定・体重測定・血圧測定・体脂肪測定、ハンドマッ
サージ、健康相談を行いました。参加20名でした。
ご利用ありがとうございました ♪♪
また、入院患者様と透析患者様に心を込めた
メッセージカードとティッシュをお配りしました！！



「心に残る看護場面」発表会

終末期の患者様との関わりを振り返り、コミュニケーションや
グリーフケアのエピソードが語られました。
2人のプリセプターさんからも励ましのお言葉を頂きました！！

迷いや葛藤がある
ときは、1人で悩ま
ず先輩の力を借り、
成長していきたい



患者様の少しの
変化や思いに気
づける看護師に
なりたい



救急救命士の資格を有する萩市消防隊員の就業前病院実習 ～産婦人科領域の処置について～

萩市消防本部では現在34名の救急救命士が24時間体制で業務
を遂行しておられます。
今年度は、1名の隊員が第47回救急救命士国家試験に合格され、
就業前教育を萩圏域の医療機関で実習されています。
当院は「産婦人科領域の処置について」を担当しました。
もしも、自宅で分娩させることになったら... 救急車内で分娩されたら...
とシミュレーションを何度も繰り返して行いました。
『半日でしたが、充実した実習であった』と言って下さいました。
M隊員の今後のご活躍を心より祈念いたします。



6階病棟 助産師 金田妙子

山口県病院協会「病院優良職員表彰」受賞者



芦谷多美子さん、阿武章子さん
受賞おめでとうございます！！

この度は山口県病院協会より、このような荣誉
ある賞を賜り、大変光栄に感じております。
賞を頂くにあたりご尽力を賜り深く感謝申し
上げます。今後は健康に注意し体力の許せる
限り、一緒に働いていきたいと考えています。
ありがとうございました。

芦谷・阿武



第18回 出前講座

学んでみよう！ “がん” と “地域医療” in 大井



都志見病院 第18回 出前講座

学んでみよう！ “がん” と “地域医療”

【日時】 令和6年7月27日(土)
10:00~11:30 (9:30開場)

【会場】 大井公民館2F集会室
入場無料・申込不要

【講演1】 がんについて知ってみよう
院長 山本達人

【講演2】 緩和ケアってなあに？
緩和ケア認定看護師 松本恵子

【講演3】 がんと地域医療
患者サロン“だいたい”代表 岡野芳子

【その他】 パンフレット展示、患者サロン“だいたい”について

都志見病院 秋市

【日時】 : 令和6年7月27日(土)
【時間】 : 10:00~11:30 (9:30開場)
【開場】 : 大井公民館 2F集会室

【※入場料無料・申込不要】

※参加者多数の場合は、先着順とさせていただきますのでご了承ください。



講演1

がんについて知ってみよう

院長 山本達人

講演2

緩和ケアってなあに？

緩和ケア認定看護師 松本恵子

講演3

がんと地域医療

患者サロン“だいたい”代表 岡野芳子



患者サロンだいたい

令和6年6月18日(火) 14:00~



都志見病院の東館2F待合ロビーにて、第6回患者サロンだいたいの開催がありました。がんと伝えられた患者さんとそのご家族と心の悩みや今後の苦悩を抱えている方が同じ場で過ごし、情報の交換を通してお互いの励ましとなることを目的に患者サロンが開催されました。今回は、当院長の山本院長が勉強会として、萩市の医療について5つの内容で講演されました。

- ① 救急医療体制について
- ② 感染症医療について
- ③ 災害現場での医療について
- ④ 看護師の確保について
- ⑤ 医療DXについて



講演会場では、全員で19名の参加があり、皆さん地域医療について熱心に聞いてくださっていました。



がん診療と多職種連携を考える講演会



令和6年6月7日(金) 19:00~20:00 当院 7F大会議室で

「がん診療と多職種連携を考える講演会」が開催されました。

山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 井岡達也先生より

山口県における胃癌薬物療法に関する医療連携についてと題して抗癌剤であるエンハーツの治療計画や治験状況等を詳しくご説明いただきました。

また、山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 講師である高橋秀典先生にもお越しいただき、多職種連携による膵がん診療についてご講演いただきました。膵がん診療の現状から、多職種による膵がん教室を運営した結果、総合診療力の向上に繋がった事例についてご紹介をいただきました。当院においても地域がん診療病院として今回の講演会を地域のがん診療に役立てていきたいと考えていますので今後ともよろしくお願いたします。





AED講習会を開催しました！



5月16日（木）に、院内でAEDの全体研修を開催しました。
10分程度の座学の後に、参加者全員に対して、AEDを用いた実際の救命処置の一連の流れを体験していただきました。
実際に生身の人間に心肺蘇生をすることは、とても勇気がいる行為です。そのため実際に心肺蘇生を行うことを想定して訓練を行うことが重要になります。
本講習は、原則、職員全員が1年に1回受講する決まりとなっており、今年度で3年目の開催となります。職員が受講回数を重ねるごとに、職員の救命処置に対する知識の向上と共に、誰もが安心できる病院づくりにつながっていくので、今後も引き続き、よりよい講習会の開催を目指してまいります。

除細動とは

致死性の不整脈に対して大きな電気ショックを与えてあげることによって心筋細胞を一度に興奮させ、正常なリズムに戻すこと



No.25

リハビリ物品を購入しました

リハビリテーション部 技士長 佛圓 祐基

当院リハビリテーション部に新たな運動マシンが導入されました。

リカンベントバイクと言います。(図1)

リカンベントバイクはエアロバイクの一種で、背もたれに寄りかかりながらペダルを漕ぐことのできる固定型バイクです。通常のエアロバイク(図2)と違い、椅子の高さが低いので高齢な方など足腰に不安のある方でも安全に乗ることができ、背もたれが付いていることで滑落する恐れもなくトレーニングすることができます。

また、ペダルの位置が身体よりも前にあることで、膝への負担を軽減しながら運動することができますので、膝が悪い方でも安心して行う事ができます。

負荷量も20段階で調整することができ、心肺機能など体調に合わせてながら適切な有酸素運動を実施することができます。

入院で体力や筋力が低下してしまわないように、このようなマシンを使ったりしながらその方に合わせてリハビリを行わせていただきます。



図1 リカンベントバイク



図2 通常のエアロバイク

